

効果概要: 近年の豪雨により排水不良が生じ、湛水被害が頻発したが、排水機場の新設により排水機能を強化することで令和5年7月の大雨では湛水被害は発生しなかった。

府省庁名: 農林水産省

■ 実施主体: 福岡県

■ 対策の概要:

排水機場を新設(計画排水能力 $3.4\text{m}^3/\text{s}$)

■ 事業費: 9.5億円

(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)2.8億円)

(うち3か年緊急対策による事業費4億円)

■ 効果:

久留米市浮島地区は筑後川とその支流に囲まれた低平地であり、地形的な特質から令和2年7月豪雨($48.0\text{mm}/\text{h}$)などの大雨時に排水が効かず湛水している状況であった。

このため、令和5年4月に排水機場を新設し、排水機能を強化し、湛水被害の解消を図った。その結果、令和5年7月豪雨($51.0\text{mm}/\text{h}$)では湛水被害が発生せず、農地及び宅地への湛水被害を未然に防止するとともに、地域の安全・安心の確保に寄与した。

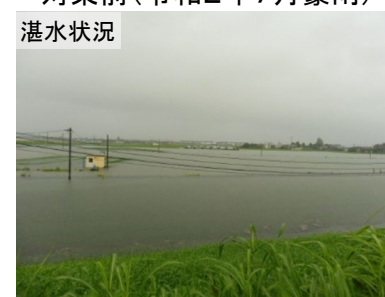
＜新設した西ノ島排水機場＞



＜対策前後の状況＞

対策前(令和2年7月豪雨)

湛水状況



浸水想定図(最大 $48.0\text{mm}/\text{h}$)



対策後(令和5年7月豪雨)

豪雨時排水状況



浸水想定図(最大 $51.0\text{mm}/\text{h}$)

